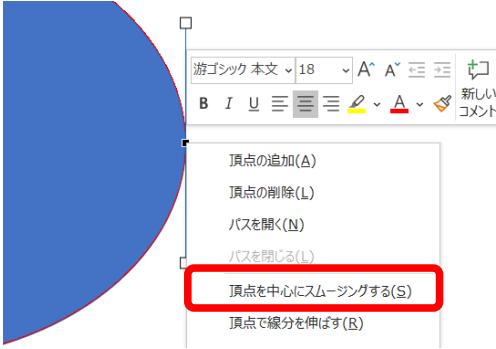
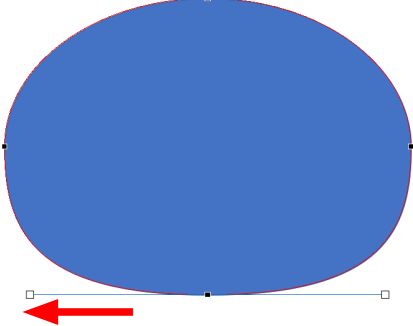
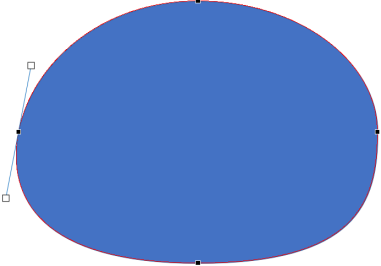
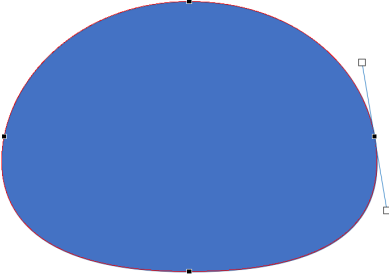
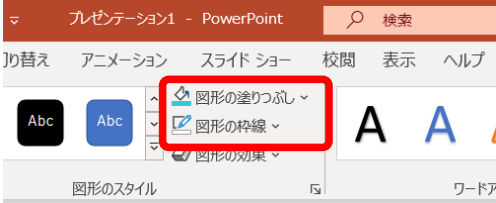
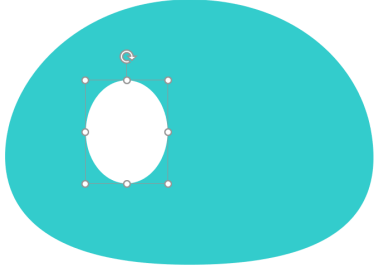


スライム

このマニュアルは PowerPoint Microsoft 365 バージョン 2004 で書かれています

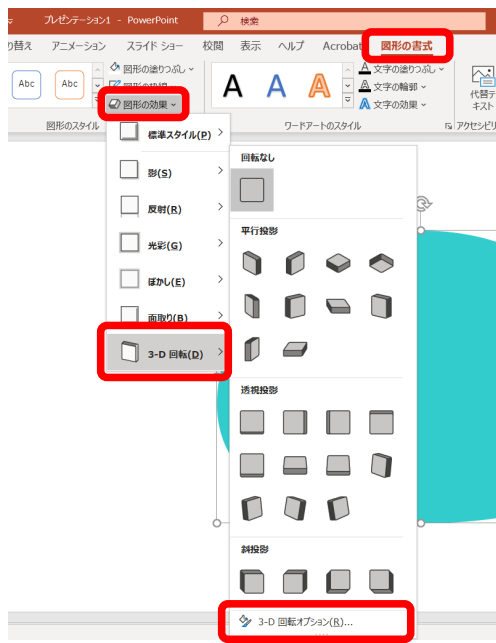
<p>1</p>		<p>「レイアウト」→「白紙」。</p>
<p>2</p>		<p>「挿入」→「図形」→「楕円」。</p>
<p>3</p>		<p>楕円を描きます。</p>
<p>4</p>		<p>楕円の上で右クリックし、「頂点の編集」。</p>

5		<p>右の頂点の上で右クリック、「頂点を中心にスムージングする」。</p> <p>楕円の場合、この頂点が基準になっており、後述するハンドルが連携して動かないため、スムージングしておきます。</p>
6		<p>下の頂点のハンドルを引っ張ります。</p>
7		<p>左の頂点のハンドルを少し傾けます。</p>
8		<p>同じように右の頂点も傾けます。</p>
9		<p>「図形の塗りつぶし」→好きな色。 「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>
10		<p>「挿入」→「図形」→「楕円」。 楕円を描き、 「図形の塗りつぶし」→「白」。 「図形の枠線」→「枠線なし」。</p>

11		<p>「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。 色は体の色より濃くして、サイズと位置を調整。</p>
12		<p>白目を選択し、 「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。 黒目の光にします。</p>
13		<p>四角形を描く要領で、マウスをクリックしながら、 目のパーツを囲んで選択。</p>
14		<p>「Ctrl」 + 「G」 キーで、グループ化。 「Ctrl」 + 「D」 キーで、複製。 もう片方の目として配置。</p>
15		<p>黒目をクリックし、もう一度クリックして選択。 「Ctrl」 + 「C」 キーで、コピー。 「Ctrl」 + 「V」 キーで、貼り付け。</p>

<p>16</p>		<p>「図形の編集」→「図形の変更」→「月」。</p>
<p>17</p>		<p>形を整えて、口にします。</p>
<p>18</p>		<p>画面左のスライドのサムネイルをクリックし、「Ctrl」+「D」キーで、複製。</p>
<p>19</p>		<p>目と口を削除。</p>

20



体の図形を選択し、
「図形の書式」→「図形の効果」→「3-D 回転」→
「3-D 回転オプション」。

21



画面右に「図形の書式設定」ウィンドウが開くので、
「3-D 回転」の「Y 方向に回転」に「270」と入力。

図形が消えたように見えますが、奥に 90° 倒れた
状態です。

22



「3-D 書式」→
「面取り：上」の「幅」と「高さ」に適当に同じ数
値を入れます。(例えば 200)
図形を見て、数値を調整します。



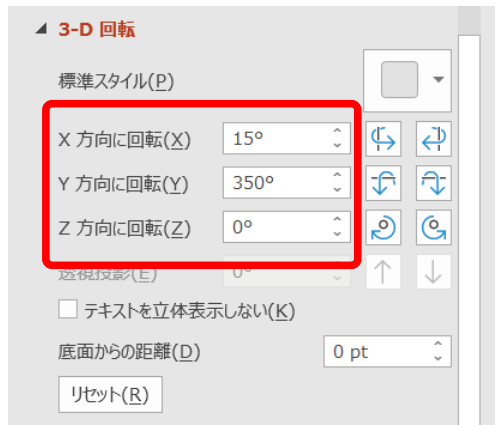
23



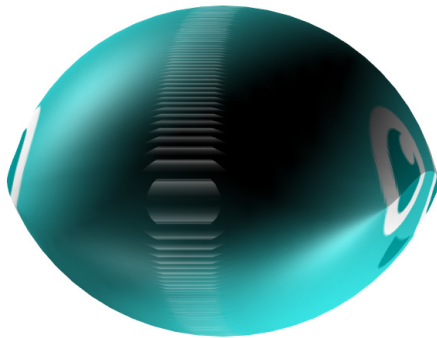
「面取り：下」の「幅」と「高さ」にも同じ数値を
入れます。

24		<p>「3-D 回転」の 「Y 方向に回転」を「0」に戻します。</p>
25		<p>←こんな風になります。</p>
26		<p>1 枚目のスライドのサムネイルをクリック。 スライムの図形を囲んで選択。 「Ctrl」 + 「C」 キーで、コピー。</p>
27		<p>2 枚目のスライドのサムネイルをクリック。 図形を選択。 「塗りつぶし」 → 「塗りつぶし (図またはテキストチャ)」をオン。 「クリップボード」。</p>
28		<p>スライムができました。</p>

補足



「3-D 回転」のXYZの値を変えれば、いろんな向きを向かせることができます。



ただ、実は横から見ると、尖っていたり、裏面にも顔があったりするのですが、どの角度でも大丈夫というわけではありません。



「図の形式」→「透明度」で、少し透明にすれば、少し透けてるスライムになります。

